

「組織としての効率的な 医療安全教育の構築」

2015年12月12日

開催セミナー

グループワーク結果報告



アドレナリンの濃度間違い

No.108 2015年11月

手術時、アドレナリン希釈液を皮下注射する際、医師が意図したアドレナリン希釈液の濃度と、看護師が準備したアドレナリン希釈液の濃度が違っていた事例が6件報告されています(集計期間:2012年1月1日~2015年9月30日)。この情報は、第33回報告書「個別のテーマの検討状況」(P135)で取り上げた内容を基に作成しました。

手術時、医師と看護師の確認が不十分のまま、医師の意図より高濃度のアドレナリン希釈液を皮下注射した事例が報告されています。

医師の指示	医師の意図 [アドレナリン希釈倍数]	看護師の準備 [アドレナリン希釈倍数]	濃度 間違い
ポスミン生食	ポスミン注1mg+生理食塩水を計500mL [500,000倍]	0.05%ポスミン液 (外用目的の院内製剤) [2,000倍]	250倍
20万倍 ポスミン	キシロカイン注射液1% (エピレナミン含有)の2倍希釈 [200,000倍]	ポスミン外用液0.1%の 2倍希釈 [2,000倍]	100倍
ポスミン	キシロカイン注射液1% (エピレナミン含有)の2倍希釈 [200,000倍]	ポスミン外用液0.1%の 2倍希釈 [2,000倍]	100倍
ポスセイ (ポスミン生食 を意図)	ポスミン注0.3mL+生理食塩水 計100mL [333,333倍]	0.02%塩酸エピレナミン液 (外用目的の院内製剤) [5,000倍]	約67倍
不明	ポスミン注の調製液 [200,000倍]	0.02%エピネフリン液 (外用目的の院内製剤) [5,000倍]	40倍
10万倍 ポスミン	ポスミン注の調製液 [100,000倍]	3,000倍ポスミン (外用目的の院内製剤) [3,000倍]	約33倍

医療安全情報

あなたの施設では配布して安心していませんか？
同様な事例がおきない為にはどのような教育的配慮
が必要なのでしょうか。

グループワークでは貴重な医療安全情報を
有効に活用する為に配布するときに
どのような教育的配慮をするべきか考えてみました。

具体的で現実可能な取り組みを提案します！

NO108の事例をもとに

①基本の徹底の為に評価すべきこと

評価

院内の薬液種類の調査

該当部署において薬液希釈の意味及び方法が理解されているか調査（振り返りテスト）

医師の指示の出し方の確認 具体的指示の出し方か 聞き取り調査

薬液の管理方法の確認

指示受け時のWチェック体制の確認

希釈時の医師との照合の仕方

自施設でのインシデント事例がなかったか確認し、あった場合は要因分析をする。

②安全部門が手助けすること

手 助 け

アドレナリン製剤の知識をまとめたものを併せて配布する

使用している薬剤を写真入でまとめる

復唱時のルールを決め、見える形で提示する。

口頭指示のものをパターン化する（パウチ・ポスターの作成）

医療安全が「カケガエノナイあなたを守りたい」というメッセージをいれる

③患者第1は自分の事として考える

自 分 の 事

当事者になればとても辛い思いをする事をメッセージとして伝える

チームを守る為にと一言をいれる。

正確な知識を持っている人はほめる

プロとして漫然と仕事をしない。

指示を受けたときにわかる自分になる

④単にヤレ、ヤルナではなく分らせるには

わ どうしての問いに答えられるか確認する。

か わかってもらえる手順書になっているか確認する

せ 急変時の対応などロールプレイで学習する。

る

⑤安全部門が安全文化として

安 全 文 化

病院長にコメントをもらう

誤薬に関する研修会を企画する

使用する医師に事故がおきないようにどのように気をつけているのか医師の立場での研修を企画する

薬剤師からの研修を企画する



安全情報は配布するだけでなく
現場がわかるような
工夫が重要です！

安全意識には温度差が。。。

まだまだ、インシデントレポートを記入することに抵抗を示す人がいる。（インシデントレポートを提出する意味をわかっていない人がいる。）

意識改革には研修会に積極的に出てもらおう。院内・院外の研修会参加を促す。地道にわかってもらおう努力が必要。自分自身を守ることが患者第1につながるということを積極的に伝える
年度の終わりに各部署においてインシデントレポートが出たことによるカイゼン事例の発表会を行う。
組織作りを検討する（各部門にセーフティマネージャーを配置）

医療安全推進の為の教育担当者は苦勞が多く、どの施設の皆様も悩みながら解決の道を探しています。
今回の研修では安全第一という考え方の基本を学ぶことができました。
企業で実践しているトヨタウェイ2001も今後参考にしたいと思います。

そして、今回のグループワークであらためて確認できたことは

「仲間をつくろう」

「新しい知識を得る為に研修会に行こう」

「研修会には仲間を連れてこよう」